

大阪市立図書館 デジタルアーカイブの 取り組み



大阪市立図書館では、大阪市立中央図書館所蔵の近世の大阪関係資料や明治・大正期の絵はがき・写真・引札、地図などの資料をデジタル化してデジタルアーカイブで公開しています。1996年7月の中央図書館リニューアル時に開始し、2024年10月現在 29,681点の資料を公開しています。

大阪市立図書館デジタルアーカイブのあゆみ

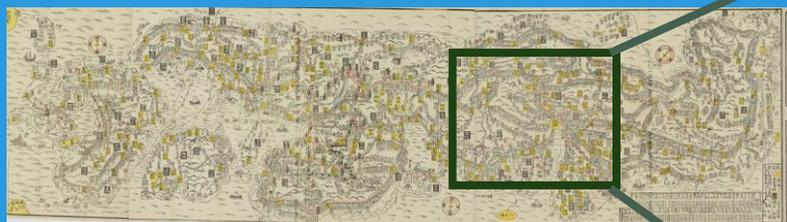
- 1996年 7月 「大阪市立図書館イメージ情報データベース」公開（館内専用端末）
- 2001年 5月 インターネット公開
- 2014年 1月 「大阪市立図書館デジタルアーカイブ」としてリニューアル
- 2017年 3月 一部画像をオープンデータとして提供開始（提供条件 CC-BY）
- 2019年10月 オープンデータの提供条件の変更（CC0）
- 2020年 1月 システム機種更新 リニューアル（ダウンロードボタン表示・専用ビューワ）
- 2021年 3月 国立国会図書館サーチとの連携開始
- 2021年 7月 ジャパンサーチとの連携開始

一部画像のオープンデータ化

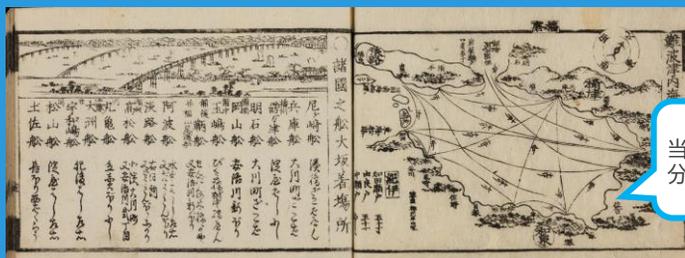
大阪市立図書館では「大阪市オープンデータの取り組みに関する指針」や「大阪市ICT戦略」に基づき、活力と魅力ある大阪の実現に資することを目的に、デジタルアーカイブの著作権が消滅したデジタル画像情報（重要文化財「間重富・間家関係文書」含む）等のオープンデータ化を進め、約7,900点のコンテンツをCC0（CC0 1.0 全世界 パブリック・ドメイン提供）で提供しています。

令和5年度新規搭載コンテンツ

大阪市立図書館では、近世・近代の貴重資料を継続してデジタル化しています。令和5年度は、『西國船路調法記』（1739年：元文4年）、『増補海陸行程細見記』（1836年：天保7年）、『改正日本船路細見記』（1851年：嘉永4年）など、江戸期の航行・交通事情が分かる資料もデジタル化しました。



『大日本早引細見繪圖』



『改正日本船路細見記』



みなとみらいは
この辺り？

当時の航行の様子が
分かります。

デジタルアーカイブの
バーチャル展示
Webギャラリー
「大阪の通りと筋」公開中！

